



ヨーロッパの映画館をイメージした1階のシアター

回遊できるキッチン

階段を上って直接入ることもできる回遊式のキッチン。勾配天井とLD側への広がり、南側に延びる窓などによって、安定感と開放感のある場所となっている

外部のような内部

外壁に沿ってガラス開口をもつ内部空間だが、内側にも一枚建具があるので、外側（外壁側）の窓を開放し、内側の建具で仕切ること、外部のように使える

道路との関係で決める

敷地形状とは逆に、奥にへこんだような形状は、南側から延びてくる道路との関係を意識し、敷地の形を建物に生かしたもの。屈折点の扉は、シアターに直接入ることができる出入り口



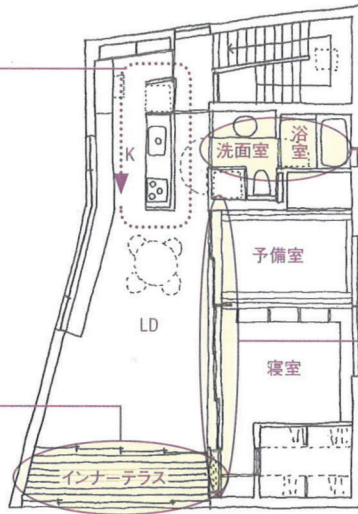
屈折点。敷地のかたちとは逆に凹むようなかたちになっている

ヨーロッパの映画館

ミニシアターは、ヨーロッパの映画館をイメージした真っ赤なイスとカーテンでしつらえた

映画が趣味で、また仕事にもしている建て主が、映画のためのスペースと夫婦二人の暮らしの場を求めた家。1階はすべて映画のための部屋となっており、音響にも配慮した本格的なミニシアター、フィルムの保管庫、書斎が置かれる。一方、生活の場としてコンパクトに必要な諸室を配した2階は、建具による広さの調節はもちろん、インナーテラスで外との関係も状況に応じて調整できるようにしている。

本格的なシアターとフィルム庫のある住宅



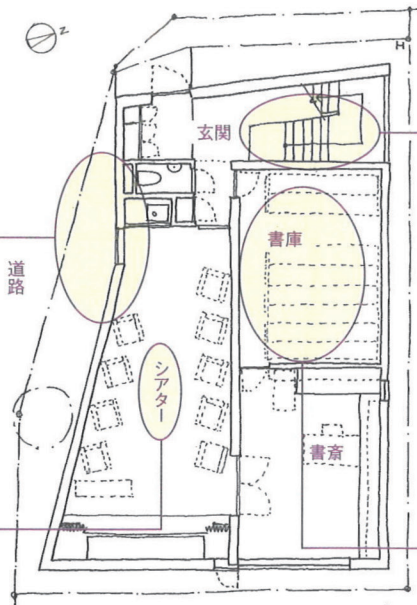
トップライト

上部にトップライトを設けて光を採り込み、北側にありながら明るい空間に。トップライトの廻りは機械置き場となっており、トップライトを開けて点検ができる

広さを建具で調整

LDKに隣接する寝室は、日中は建具を開け放してベッドで寝ながらテレビを見たりしてつづげる。ちょっと大きめのホテルの一室といった使い方もできる開放的なLDK。建具は、予備室のみですべて引き込める

2F
1:200



寝室からLDKを見る。建具を開放すれば一室空間となる

向かいやすい階段室

奥に向かって広がる形状とトップライトからの光により、迎え入れるような穏やかな空間

大きな書庫を確保

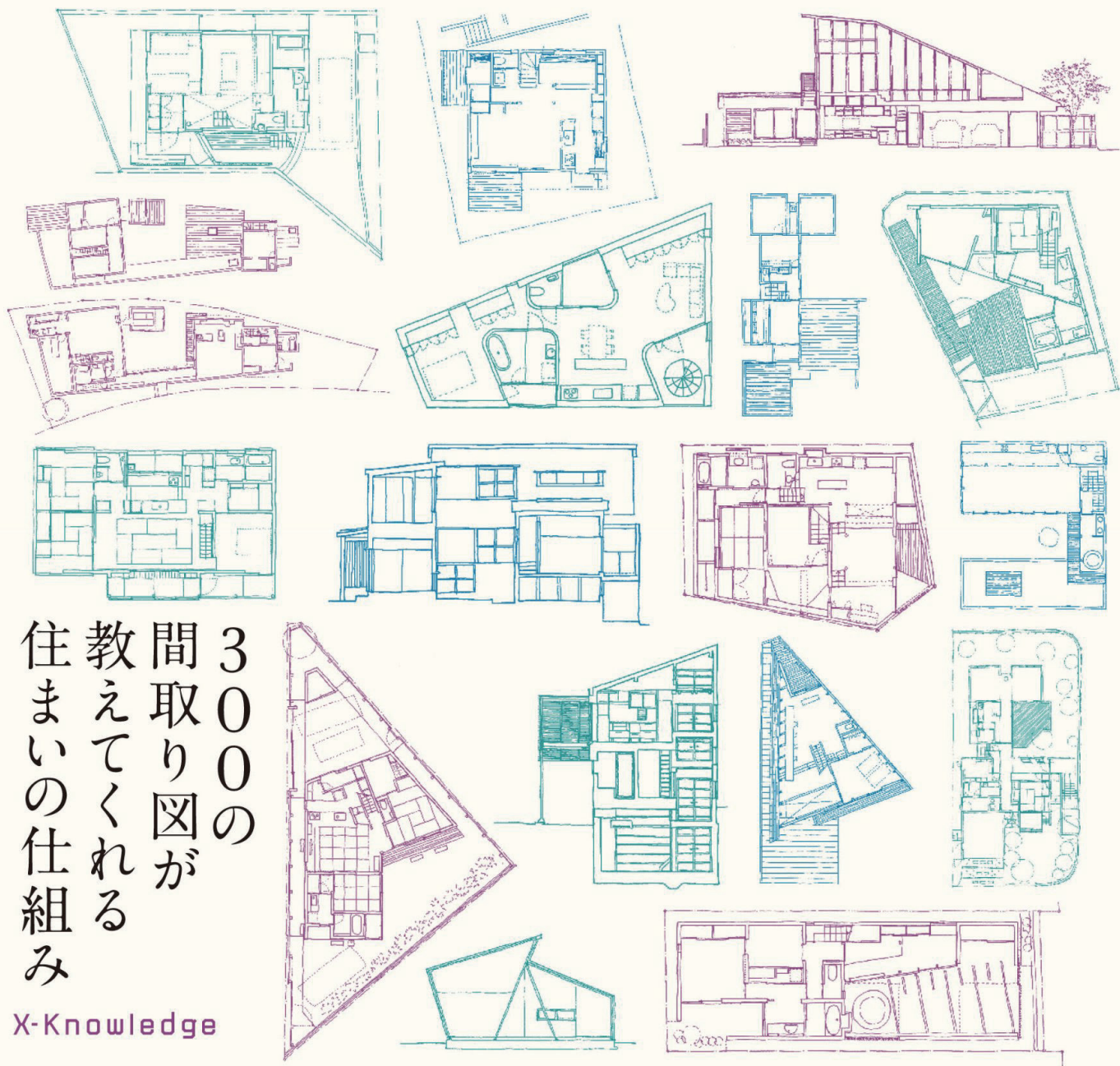
古い映画のフィルムを保管するアーカイブスは、あらかじめ必要なスペースが提示され、膨大な量のコレクションを納められる広さが優先的に確保された

1F
1:200

敷地面積/172.57㎡ 延床面積/177.70㎡
設計/矢板建築設計研究所
名称/調布の家

最高にステキな [間取り]の図鑑

編著=ザ・ハウス



300の
間取り図が
教えてくれる
住まいの仕組み

X-Knowledge